

令和3年度 第1回 医療事業推進委員会近畿地区 リーダー育成研修会

日時 令和3年8月29日(日)10時～13時
場所 大阪府栄養士会事務局 WEB開催
出席者数 31名

1. 第1回、第2回(公社)日本栄養士会医療事業 推進委員会報告

・事業推進委員変更について・・・兵庫県の三野委員の退職に伴い、同地区で山本委員により立候補届けがあり、事業推進委員として承認された。

・2021年度実態調査について・・・須永副委員長より、6月実績で7月末を期限に実態調査が始まっているが、実態調査に関する質問も多数寄せられている。日栄のホームページに質問の回答を反映させるため、各都道府県での周知をお願いしたいと説明があった。

・研修会関連について・・・宮崎副委員長より7/17開催の臨床栄養学術セミナー（WEB開催）については検査値や画像の見方についての講演を予定している。また10/10開催のスキルアップセミナー（WEB開催）については摂食嚥下をテーマとしての講演を予定しているのでこれら研修会の各都道府県での参加勧奨をお願いしたいと説明があった。また、来年3月には食事療法学会も予定している。開催方法はWEBですすめていくが、今後の開催方法も含め、地区リーダー研修会での協議事項としていきたいと補足説明があった。

・上半期地区リーダー研修会について・・・会員増対策、専門管理栄養士の取得勧奨、今後の研修会の在り方、コンサルテーションサロンの今後取り上げたい内容等の協議事項についての説明があった。

2. 広報関連及び会員数について

広報関連については日本栄養士会雑誌の管理栄養士の活動最前線や臨床栄養の編集計画についての説明があり、会員数については従来の各都道府県からの報告では報告におけるタ

イムラグが生じ正確な会員数報告にならないため、クレジット決済での人数を会員数報告に反映できるようにするとの説明があった。

3. 協議事項

1) 会員増対策について

2029年に日本栄養士会の会員数6万人を目標値としている。令和元年度の医療施設動向調査では病床60床に1名の管理栄養士が配置されており、これを基に計算すると医療の会員数は27000人となる。介護報酬では50床に1名の管理栄養士の配置が令和3年度の改定で示されたことから、50床に1名で32500人となりこのふたつの数字の間をとって3万人を目標値とした。それぞれの都道府県で2029年までの会員数の目標値を定め、対策を検討、実施していく。特に20代、30代の会員が入会数も退会数も他の年代から比べると多いので、この点を踏まえた対策を検討する。近畿ブロックでは、他の学会の研修会などに無い栄養士会独自の会員に魅力のある研修会、例えば日本栄養士会が手掛けている相談会を都道府県版としてやることは有益ではないかという意見があった。

2) 専門管理栄養士の取得勧奨について

現在、がん、糖尿病、腎臓病、摂食嚥下、在宅の専門管理栄養士があるが、取得者はがんは1000人程度、他は100人程度でまだまだ取得者が少ない。これも2029年度までの取得者の目標値をたて取得者増の対策を検討、実施していく。近畿ブロックでは有資格者による研修会の実施による資格の魅力を示すことや資格へのメリット（例えば他の学会認定の資格更新に必要な単位の優遇など）を進めていく等の意見があった。

3) 今後の研修会の運営・あり方（食事療法学

会等) について

コロナ禍、またはアフターコロナとなっても、WEBでの研修会は多くの会員が望んでいるので、継続して進めていく必要があると考える。食事療法学会の運営はコロナ禍においてWEBで日栄主体で実施している。今後は日栄主体だと都道府県の負担は少ないが、日栄の常任の負担が大きいため、軌道にのれば以前の輪番で各都道府県のブロックごとでの運営にしてはどうかという意見があった。

4) 今後コンサルテーションサロン（相談会）

で取り上げたい内容について

取り上げたいテーマは栄養管理関連、給食管理関連と様々だが、厚生労働省から栄養士会に対して勧めるように言われている診療報酬（栄養関連）でまだ取り組みがされていない項目をいかに増やすかということについては、日栄主体で進めていき、都道府県単位では、主に会員の悩みなどの相談会というように役割を分けてすすめる方がいいのではないかという意見があった。

（文責 医療 内菌雅史）